

埼玉県学力・学習状況調査に係る効果的な取組事例（中学校・国語）

春日部市立緑中学校

1 本校の概要

○埼玉県学力・学習状況調査の結果

| 学年 | 伸びた層 | | | 本事例で取り上げた観点 | | | | 左記以外に取り上げた主な取組 |
|----|------|-----|-----|-------------|------|------|-----------------|--------------------|
| | 上位層 | 中位層 | 下位層 | 話す・聞く能力 | 書く能力 | 読む能力 | 言語についての知識・理解・技能 | |
| 2 | | | ○ | ○ | | ○ | | ノート作り指導 学習形態の工夫 |

※「伸びた層」は、一番伸びた層に『○』。各層において同じ伸びの場合は、複数の層に『○』。

・伸びた結果の要因、背景

本校は「確かな学力をはぐくむための学習指導の工夫 ～基礎基本の習得、及び表現力と意欲の向上を目指して～」という研修課題のもとに学習指導に取り組んでいる。今回の調査において下位層の伸長は、国語科や学年における「基礎基本の習得」に向けての取組が要因として考えられる。

また、生徒質問紙調査において「自分にはよいところがある」「先生たちは自分のよいところを認めてくれる」という項目で「当てはまる」という回答が県平均よりも高い数値を示した。下位層でも自己肯定感が比較的高いことが学力向上の土台になったと考えられる。

2 具体的な取組

○本校独自の取組

基礎基本の習得に向けた取組

- (1) 「学習の構え」の指導による学習規律の確立
- (2) ノート作り指導による学習事項の整理
- (3) 思考の広がりや意欲の向上を意図した学び合い学習（4人班）の活用
- (4) 单元ごとの評価とそのフィードバック
- (5) 学年と連携した基礎学力テストの実施



～体験を通して学び合い、
自己肯定感を高める授業の工夫～

3 成果と課題

○生徒の変容した（伸びた）姿について

上記の取組を重ねることで、生徒質問紙調査における「大切だと思ったところと言われなくてもノートにまとめる」「グループ活動するとき、一人の考えだけでなく、みんな考えを出し合って課題を解決する」「課題を解決するとき、みんな考えを発表する」などで「当てはまる」と回答する生徒数が県平均を上回った。このことが下位層の学力向上につながったと考える。

○分析結果を受け、これからの実践に向けての課題

下位層の学力向上は見られたが、中、上位層の学力の伸長には課題が残った。問題形式別の正答率をみると、短答式・選択式は、県平均と同等か上回る結果であるが、記述式においては下回った。文脈から情報を類推し、判断する基礎学力は改善されつつあるが、それらを活用し、文章にまとめる能力（中、上位層の学力向上）には課題が見られた。今後は、短文から文章を広げていく活動や文の構成を意識した表現活動などの工夫改善に取り組み、中、上位層の伸長を図りたい。